

株式会社メルコホールディングス

Business Report 2024

2023.4.1 — 2024.3.31

Wi-Fi 7



小型SSD



Airdog X1D



流水麺



ステークホルダーの皆様へ

To Our Stakeholders

ステークホルダーの皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
この度の令和6年能登半島地震により被害に遭われた皆様に心からのお見舞いを申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

2024年3月期の当社グループは、2023年5月18日に公表しました「当社グループ組織再編の方針について」の下、監査等委員会設置会社への移行や東証スタンダード市場への移行など、長期的な株主価値を最大化するための施策を行ってまいりました。また、持分法適用関連会社であった株式会社セゾン情報システムズ（現 株式会社セゾンテクノロジー）の株式の大部分を売却するなど、バランスシートの適正化も実施いたしました。しかしながら、円安・原材料価格の高騰・消費者の最終需要の低迷といった厳しい経営環境は継続しており、利益面では苦戦いたしました。

今後につきましては、食品事業を担ってきたシマダヤ株式会社につき、スピンオフ上場を行う所存であります。この他にも、ステークホルダーの皆様のご期待に応えるよう、さまざまな経営判断を適切に執り行ってまいります。

今後も、お客様の社会生活の変化をグループ一丸となって支えていけるよう精進していく次第です。ステークホルダーの皆様におかれましては何卒ご高承のうえ、今後ともご支援を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。



株式会社メルコホールディングス
代表取締役社長

牧 寛之

2024年6月

メルコバリュー

千年 企業

私たちは、先人の教えを真摯に学び、活用し、常に未来を見据え、メルコバリューを共有する全ての人たちとともに、メルコグループの永続的な成長を目指します。

顧客 志向

私たちは、常にお客様の視点に立ち、より良い社会生活の実現に資する商品・サービスを提供し続け、私たちの智恵と努力が社会の発展に寄与することを喜びとします。

変化 即動

私たちは、世の中の変化に目をそむけず、誤りに気付いた時は引き返す勇気を持ち、常に自己研鑽に励み、自己変革を目指して行動します。

一致 団結

私たちは、フェアアンドオープンで、高い志と情熱を共有する人たちと共に、いかなる困難をも乗り越え、一丸となって目標を達成します。

長期的な株主価値の最大化を目指し 組織再編計画を鋭意推進

収益環境は 厳しい状況が継続

当連結会計年度における日本及び世界経済は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、感染拡大防止のための行動制限緩和によって、社会経済活動の正常化は一層進んだものの、世界的な物価の上昇、円安のさらなる進行など、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループに関係するデジタル家電業界は、法人向け市場において、企業の設備投資には回復傾向がみられたものの、個人向け市場においては、物価高による消費余力の低迷などにより、需要の縮小は継続しております。また、生麺業界でのチルド麺・冷凍麺市場は、家庭用市場において、価格改定の影響などにより食数では前年を下回るも金額では前年を上回りました。一方、業務用市場においては、外食市場の回復などを受け、食数・金額とも前年を上回りました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高1,457億73百万円(前年同期比2.2%増)、営業利益25億97百万円(同42.5%減)、経常利益25億75百万円(同45.4%減)、親会社株主に帰属する当期純利益30億12百万円(同1.5%減)となりました。

高付加価値商品の 販売を推進

IT関連事業において、法人向け市場でネットワークセキュリティを強化するVPNルーター用UTM(統合脅威管理)機能拡張ライセンスパックを発売しました。また、個人向け市場では国内メーカー初^{*1}「Wi-Fi CERTIFIED™」を取得した「Wi-Fi 7」^{*2}対応のトライバンドWi-Fiルーターを発売するなどラインナップの拡充を図りました。シェアは維持・拡大したものの、円安を主要因とする原価高騰等により、非常に厳しい収益環境となりました。国内代理店を務める高性能空気清浄機「Airdog」シリーズは、デスク上にも置けるスリム設計の省スペースモデルを発売するなど「Airdog」ブランドの確立に努めました。

食品事業では、家庭用・業務用ともに高付加価値商品の拡充を推進しました。一方で、原材料の高騰、人手不足による製造労務費の上昇、今後の利益成長を見据えたテレビCMの積極投入等により費用が増加する中、引き続き原価の低減に取り組むと共に、2023年2月実施の商品価格改定の定着に努めました。

^{*1} 日本で創業した企業が製造及び販売している家庭用Wi-Fiルーターとして、2024年1月9日時点、Wi-Fi Alliance® Product Finderの確認に基づく。パフアロー調べ。

^{*2} Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

経営方針

Policy

組織再編により最適な資本政策を実施

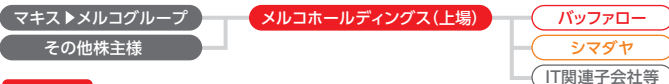
当社は、長期的な株主価値の最大化を目指すため、組織再編により当社グループにおける経営資源の整理・再配分を行い、それぞれに成長戦略を明確化し、最適な資本政策を進めております。食品事業のシマダヤの2024年10月1日付でのスピノフ上場計画はその一環となります。

2025年3月期の通期連結業績予想については、本スピノフが実施された場合*、売上高1,330億円、営業利益52億円、経常利益52億円、親会社株主に帰属する当期純利益34億円を見込んでおります。本スピノフが実施されなかった場合、売上高1,500億円(前年同期比2.9%増)、営業利益58億円(同123.3%増)、経常利益58億円(同125.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益36億円(同19.5%増)を見込んでおります。

*本スピノフが実施された場合の第3四半期以降の当社連結業績予想にはシマダヤ株式会社は含んでおりません。また、このため対前期増減率につきましては記載しておりません。

組織再編のステップ

STEP 1 親会社の(株)マキスが(株)メルコグループに社名変更 (2023年7月1日)



STEP 2 シマダヤ(株)のスピノフ・上場 (2024年10月1日目標)



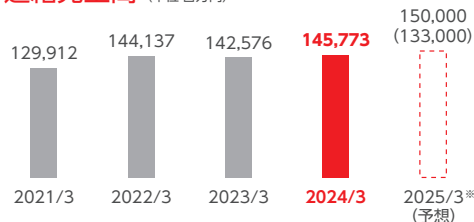
STEP 3 当社と(株)バッファロー合併、(株)バッファローに社名変更 (スピノフ後速やかに)



*株式会社メルコグループ(旧社名:マキス)は当社の会社法上の親会社にあたります。

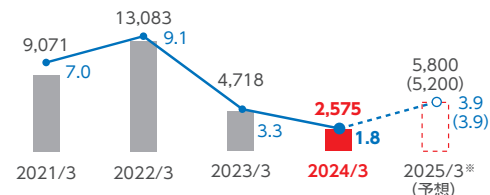
*必要に応じ、株主総会に付議し、株主様による承認を前提とします。

連結売上高 (単位:百万円)



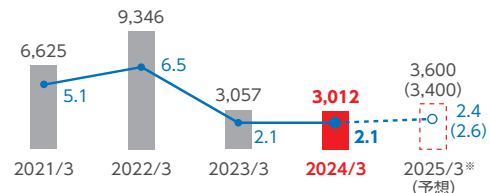
連結経常利益 (単位:百万円)

連結売上高経常利益率 (単位:%)

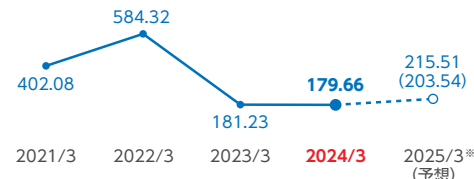


親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)

連結売上高当期純利益率 (単位:%)



1株当たり当期純利益 (単位:円)



*2025年3月期予想はシマダヤ株式会社のスピノフが実施されない場合の予想値となっております。()内の数値は、本スピノフが実施された場合の当社連結業績予想であり、第3四半期以降の当社連結業績予想にはシマダヤ株式会社は含んでおりません。

*各数値に係る注記はP.12を参照ください。

お客様の社会生活の変化を グループ丸となってサポートします

IT関連

Wi-Fiをはじめとするネットワーク製品、パソコン・テレビ録画用外付けハードディスクや遠隔監視・操作が可能な法人向けNASなどのストレージ製品、磁気データ消去装置「MagWiper」など、デジタル家電やパソコン周辺機器を中心にさまざまな製品を提供しています。また、高性能空気清浄機「Airdog」、高速ナノバブル水ジェネレーター「ナノバサラ」、ネットワークレコーダー&メディアストレージ「nasne®」*、ハイレゾ音源専用デジタルミュージックライブラリーなど日常に豊かさを提案する製品も取り扱っています。さらに、データ復旧サービス、リモート管理サービス「キキNavi」などのサービスやソリューションも提供しています。

*「nasne®」は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの登録商標です。



Wi-Fi 7対応ルーター



外付けハードディスク



nasne®



法人向けNAS



Airdog



ナノバサラ



デジタルミュージックライブラリー



キキNavi

キキNavi

📁
📄
🗑️
🗨️
📺
📺

**バッファロー正規
データ復旧サービス**

HDDのデータ消失！
あきらめる前に
データ復旧サービス

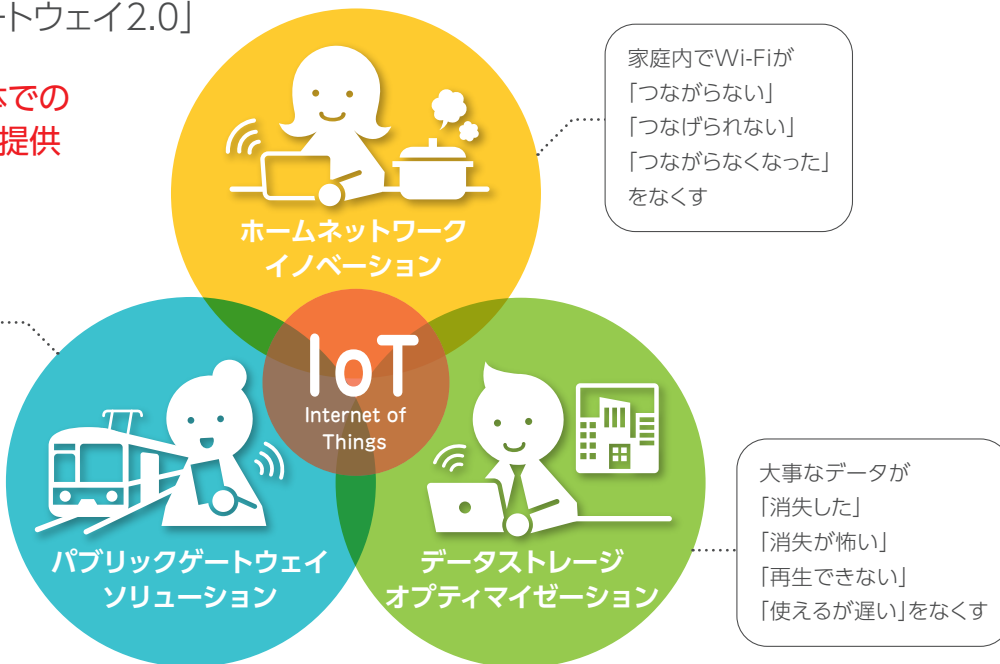
データ復旧サービス

IT関連

中期ビジョン「ゲートウェイ2.0」

モノのインターネット

IoT時代の社会全体での
安心ネットワークを提供



BCN AWARD
2024 (2023年1月～12月)

14部門受賞(当社グループ)

全国大手家電量販店の
実売データ集計に基づくAWARDです。

※1 当社グループとして、CFD販売としては15年連続15回目。

※2 当社グループとして、CFD販売としては13年連続13回目。

無線LAN
部門

22年連続
22回目



NAS
部門

11年連続
11回目



HUB部門

23年連続
24回目



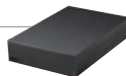
LANカード
部門

25年連続
25回目



HDD外付
部門

16年連続
21回目



ルータ
部門

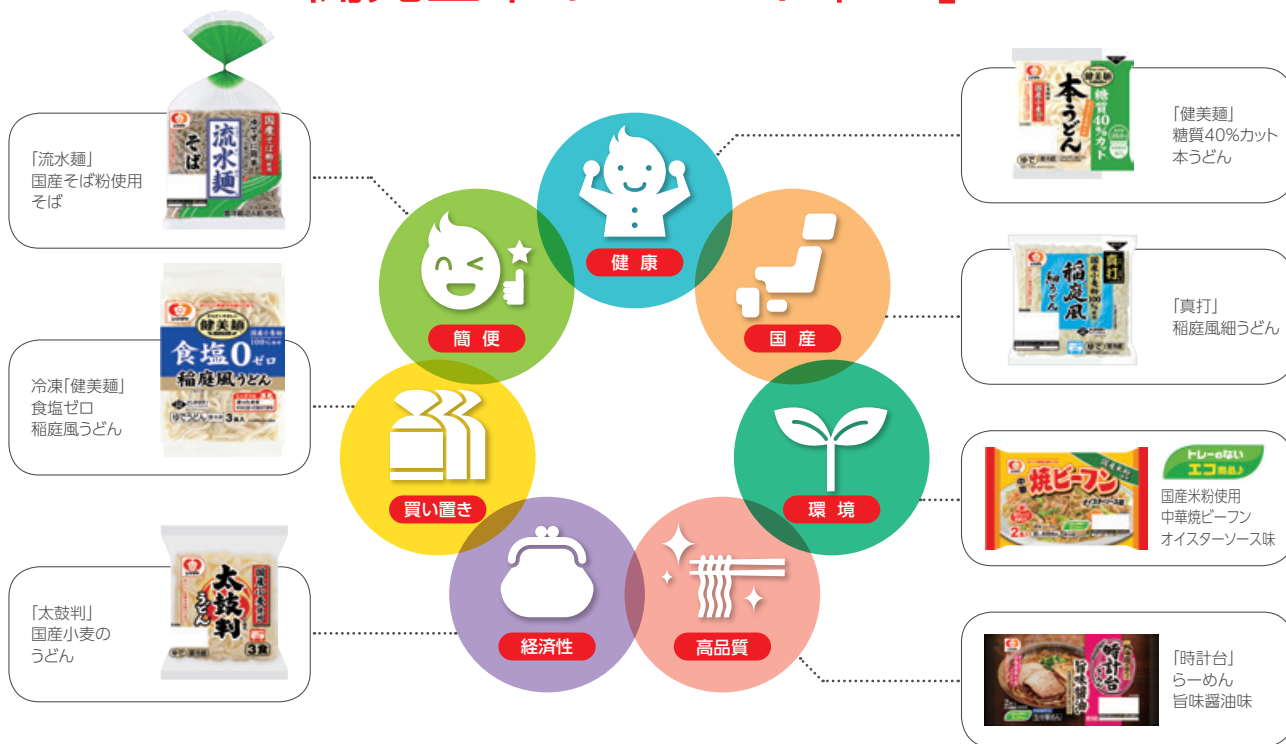
21年連続
22回目



- 拡張インターフェース部門 21年連続 21回目^{*1}
- メモリ部門 15年連続 23回目^{*2}
- ドライブケース部門 14年連続 16回目
- PC電源部門 13年連続 13回目
- USBメモリ部門 4年連続 11回目
- 記録型DVDドライブ部門 4年連続 13回目
- SSD外付部門 4年連続 4回目
- カードリーダー部門 2年連続 9回目

ゆでずに水でほぐすだけで食べられる「流水麺」や、健康価値商品「健美麺」をはじめ、うどん・そば・ラーメン・焼そば・ Pasta などバラエティ豊かな商品を提供しています。家庭用商品はチルド麺・冷凍麺、業務用商品は冷凍麺を中心に展開しています。素材としての麺だけではなく、魅力ある「麺料理メニュー」や新しい「麺の食べ方」など、常にお客様の視点に立った商品作りにより、麺市場の新たな可能性を創造しています。

開発基本キーワード「7K」



事業概況

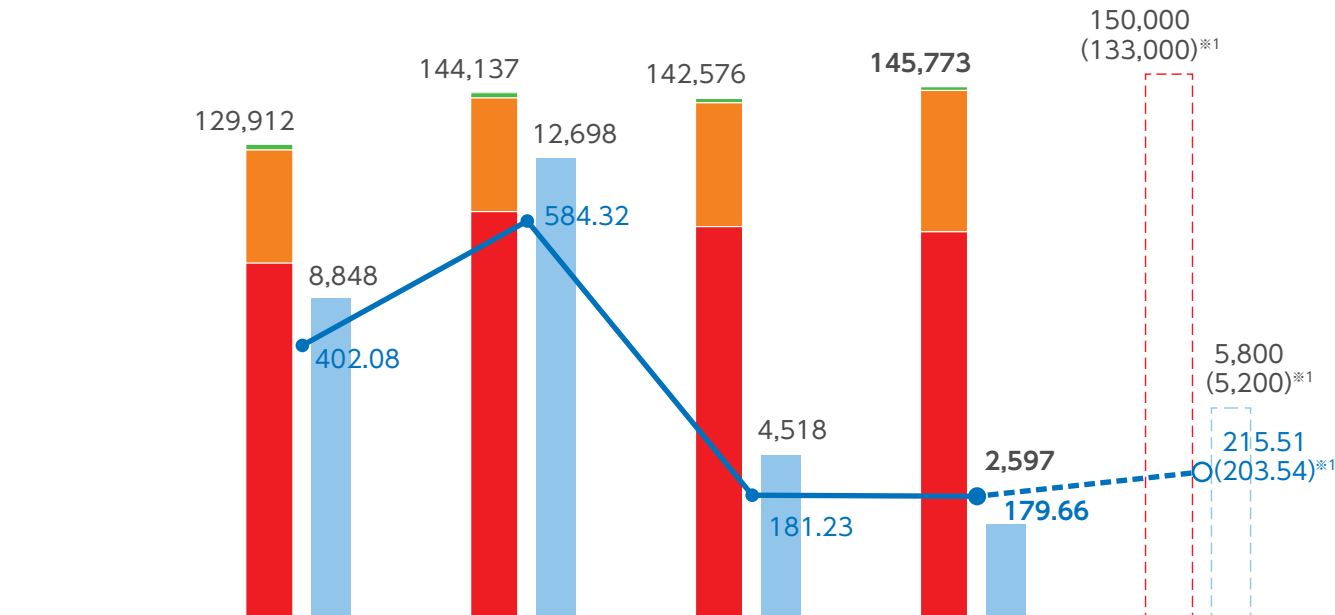
Business Overview

連結売上高 (単位：百万円)

連結営業利益 (単位：百万円)

1株当たり純利益 (単位：百万円)

■ IT関連 ■ 食品 ■ その他



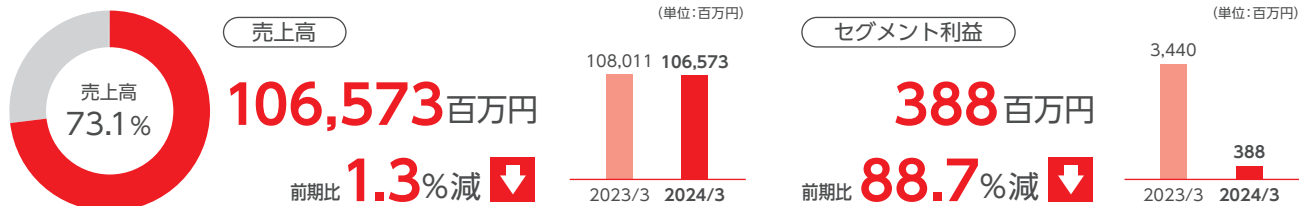
	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3 (予想)
■ IT関連	97,929	112,161	108,011	106,573	—
■ 食品	31,195	31,317	34,115	38,973	—
■ その他 ^{※2}	787	658	449	225	—

※1 2025年3月期予想はシマダヤ株式会社のスピンオフが実施されない場合の予想値となっております。()内の数値は、本スピンオフが実施された場合の当社連結業績予想であり、第3四半期以降の当社連結業績予想にはシマダヤ株式会社は含んでおりません。

※2 報告セグメントのうち「金融事業」は、重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて記載する方法に変更しております。「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の全社管理機能を含んでおります。2022年3月期以前は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

事業別連結売上高・セグメント損益

IT関連



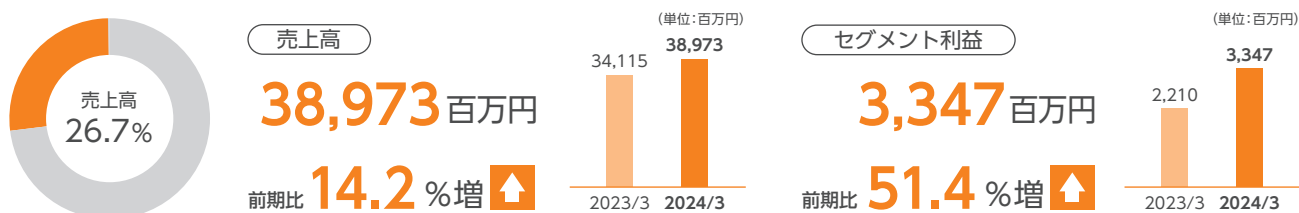
主力とするパソコン周辺機器市場において、法人向け市場ではネットワークで企業DXを支援する一環として、企業のネットワークセキュリティを強化するVPNルーター用UTM（統合脅威管理）機能拡張ライセンスパックを発売いたしました。個人向け市場では、より快適な通信を実現する国内メーカー初^{*1}「Wi-Fi CERTIFIED™」を取得した「Wi-Fi 7」^{*2}対応のトライバンドWi-Fiルーターの発売などラインナップの拡充を図りました。商品の安定供給に努めシェアは維持・拡大したものの、国内需要の縮小により売上高は横ばいとなり、円安を主要因とする原価高騰により、利益面では非常に厳しい収益環境となりました。

一方、当社グループ会社が国内代理店を担っている高性能空気清浄機など「Airdog」シリーズにおいては、全体の販売台数は前期を下回りましたが、販路拡大に取り組み百貨店などでは販売台数が増加いたしました。また、デスク上にも設置可能なスリム設計の省スペースモデルを発売するなど、さらなる「Airdog」ブランドの確立に努めました。

これらの結果、売上高1,065億73百万円（前年同期比1.3%減）、セグメント利益3億88百万円（同88.7%減）となりました。

^{*1}: 日本で創業した企業が製造及び販売している家庭用Wi-Fiルーターとして。2024年1月9日時点、Wi-Fi Alliance®Product Finderの確認に基づく。パッファロー調べ。
^{*2}: Wi-Fi 7は、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

食品



販売面では、家庭用は、国産そば粉を使用し付加価値を高めたそば2人前をはじめとする「流水麺」や、節約志向に対応した「太鼓判」などを積極的に拡販しました。業務用は、主力商品の「太鼓判」の拡販やロングセラーの「真打」稲庭風細うどんなどの付加価値商品の提案を強化する営業活動を進めました。利益面では、あらゆる原材料の高騰、人手不足による製造労務費の上昇、今後の利益成長を見据えたテレビCMの積極投入等により費用が増加する一方で、引き続き原価の低減に取り組むと共に、2023年2月実施の商品価格改定の定着に努めました。

これらの結果、売上高389億73百万円（前年同期比14.2%増）、セグメント利益33億47百万円（同51.4%増）となりました。

TOPIC

令和6年能登半島地震の被災者支援、 特別修理やデータ復旧サービスを 無償で提供

令和6年能登半島地震の被災者支援として、バッファローでは、災害救助法が適用された地域にお住まいで、バッファロー商品を利用されている方を対象に、無料で商品の修理交換を実施、併せてバッファロー、アドバンスデザインでは、データ復旧サービスにつきまして支援を実施しております。

今回の被災により生じたバッファロー商品の故障に対し、保証期間にかかわらず無償で修理・点検を行います。お預かりした商品が修理不可能な場合、または被災により商品が破損・紛失等で送付が困難な場合、ユーザー登録をいただいている方には新しい商品と交換させていただきます。また、データ復旧サービスを無償にてご提供しております。

特別修理について

対象品 被災した修理可能なバッファロー商品

対象者 災害救助法適用地区にお住まいのお客様

お問合せ先等、詳細はウェブサイトにてご確認ください。

バッファロー <https://www.buffalo.jp/news/detail/20240104-02.html>

データ復旧について

対象品 被災したバッファロー商品、及び他社商品
(バッファロー商品以外でも対象です)

対象者 災害救助法適用地区にお住まいの個人のお客様

お問合せ先等、詳細はウェブサイトにてご確認ください。

バッファロー <https://www.buffalo.jp/news/detail/20240104-01.html>

アドバンスデザイン <https://www.a-d.co.jp/news/2021/07/06/disastersupport.html>

TOPIC

教育DX支援プロジェクト： 学生の学び支援として、全国17の学校の 新入生へ累計12.9万台のPD充電器を寄贈

バッファローは、DXが進む大学教育現場に対して、毎年4月に入学する新入生へUSB Power Delivery対応のパソコン用充電器(以下PD充電器)の寄贈を行う「教育DX支援プロジェクト」を2022年3月から行っており、これまで全国17の学校へ累計12.9万台のPD充電器を寄贈いたしました。

寄贈については新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策支援の一環として、バッファローが全国の大学へPD充電器を寄贈したことから始まり、今年で3年目を迎えます。コロナ禍において大学等の授業実施状況がオンライン授業となり、在宅やさまざまな場所で受講する学生が増えており、変化した学習環境に身を置くことになる新入生の学業や研究の後押しとして、バッファローとして何かできることはないかという考えから生まれました。

今後も「安心で快適な学生生活を過ごしてもらおう。」ことをミッションに掲げ、パソコンやタブレットを積極的に利用する教育現場の中で、未来をつくる学生たちが安心して学業に専念できるようにICT支援を継続してまいります。



寄贈したPD充電器
(左)BSACPD4500シリーズ、
(右)BSACPD5200シリーズ

3

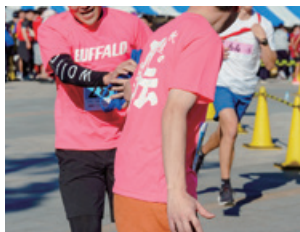
バッファローは総合2位入賞! 【第12回 NIPPON IT チャリティ駅伝】

バッファローは、2023年11月19日にお台場シンボルプロムナード公園セントラル広場(東京都江東区)で開催された「第12回 NIPPON IT チャリティ駅伝」(以下、大会)にプラチナスponsorとして協賛し、バッファローを含むグループ企業から13チーム計65名のランナーが出場いたしました。

今大会は昨年の1.5倍の530チームが参加する大規模な開催となる中、昨年総合4位から“絶対入賞”を誓った「BUFFALO Athletes」チームは、2区3区では区間賞を獲得した快走でチームを牽引し、総合2位入賞を果たしました。大会当日はチームメンバー全員が楽しみながらタスキをつなぎ、同じ目的に向かって参加者同士が助け合うことの素晴らしさや喜びを伝える一助になれたと感じております。

この大会は社会的に立場の弱い未就労者の社会復帰などの支援を目的に企画されたチャリティ駅伝であり、大会で得た収益で就労支援を行っているNPO団体への寄付や被災された地域の復興支援に役立てられております。

今後もお客様の社会生活の変化を当社グループ一丸となってサポートし、企業活動や社員一人ひとりの活動を通じて社会に貢献してまいります。



4

シマダヤブランドの認知度を向上べく 家庭用チルド3ブランドのテレビCMを放映

2024年2月から3月にかけてシマダヤブランドの認知度を向上すべく、家庭用チルド3ブランドのテレビCMを放映いたしました。

2食入焼そばのパイオニア商品である「鉄板麺」ブランドにつきましては、ブランドの認知度向上を目的に、2024年2月26日～3月10日にかけてテレビCMを放映いたしました。今回のテレビCMは消費者キャンペーンと連動し、麺のほぐれやすさや濃厚ソースのおいしさを伝える内容としました。

ゆでずに簡単「流水麺」ブランドにつきましては、2024年3月14日～3月27日にかけてテレビCMを放映いたしました。タレントの佐々木希さんを起用し、「ココロまで、さっと、ほぐれるね。」というメッセージとともに、「流水麺」がもたらす幸せを表現いたしました。

西日本開拓のための戦略商品として開発した西日本専用「太鼓判」ブランドにつきましては、ソース焼そば3食を新発売し、発売に合わせ、2024年3月18日～3月31日にかけてテレビCMを放映いたしました。「太鼓判」ブランドが持つ“手軽でおいしい”といったイメージとともに、ほどよくコシがあってほぐれる麺と香り豊かなソースを調理シーンや食卓シーンで再現いたしました。

今後もシマダヤは開発キーワードである「7K」(健康・簡便・高品質・経済性・買い置き・環境・国産)の価値を備えた商品開発に注力するとともに、お客様に商品価値が伝わるような広告販促を行ってまいります。

「鉄板麺」お好みソース味、「流水麺」国産小麦粉使用 稲庭風細うどん2人前、西日本専用「太鼓判」ソース焼そば3食



連結財務諸表

Financial Statements

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期 2024年 3月31日	前期 2023年 3月31日
①【資産の部】		
流動資産	75,627	66,020
固定資産	20,308	27,389
有形固定資産	11,080	11,236
無形固定資産	3,705	3,394
投資その他の資産	5,523	12,757
資産合計	95,936	93,410
②【負債の部】		
流動負債	29,068	27,941
固定負債	2,945	3,005
負債合計	32,014	30,946
③【純資産の部】		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	250	250
利益剰余金	62,097	61,092
自己株式	△756	△267
株主資本合計	62,590	62,075
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,030	611
繰延ヘッジ損益	150	31
為替換算調整勘定	△4	△31
退職給付に係る調整累計額	155	△222
その他の包括利益累計額合計	1,332	388
新株予約権	—	—
純資産合計	63,922	62,463
負債・純資産合計	95,936	93,410

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT

① 資産の部

総資産は959億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億26百万円増加しました。流動資産は756億27百万円となり、96億7百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加94億51百万円、売掛金の増加38億53百万円、未収還付法人税等の減少18億86百万円、未収入金の減少11億15百万円、前渡金の減少5億93百万円によるものです。固定資産は203億8百万円となり、70億80百万円減少しました。これは主に、投資その他の資産の減少72億34百万円、有形固定資産の減少1億56百万円、無形固定資産の増加3億10百万円によるものです。

② 負債の部

負債合計は320億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億67百万円増加しました。流動負債は290億68百万円となり、11億26百万円増加しました。これは主に、未払費用の増加10億23百万円、電子記録債務の増加5億21百万円、未払法人税等の増加4億45百万円、未払金の増加3億34百万円、預り金の減少11億51百万円によるものです。固定負債は29億45百万円となり、59百万円減少しました。これは主に、退職給付に係る負債の減少4億65百万円、役員退職慰労引当金の増加2億89百万円、繰延税金負債の増加1億14百万円によるものです。

③ 純資産の部

純資産合計は639億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億58百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の獲得30億12百万円、配当金の支払20億17百万円、その他の包括利益累計額の増加9億43百万円、自己株式の取得4億89百万円によるものです。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	自 2023年 4月 1 日 至 2024年 3月31日	自 2022年 4月 1 日 至 2023年 3月31日
売上高	145,773	142,576
売上原価	109,700	106,589
販売費及び一般管理費	33,474	31,468
営業利益	2,597	4,518
営業外収益	287	512
営業外費用	309	312
経常利益	2,575	4,718
特別利益	2,097	22
特別損失	63	652
税金等調整前当期純利益	4,609	4,088
法人税、住民税及び事業税	1,308	1,041
法人税等調整額	288	△10
親会社株主に帰属する当期純利益	3,012	3,057

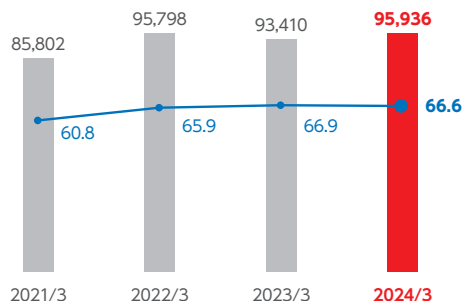
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	自 2023年 4月 1 日 至 2024年 3月31日	自 2022年 4月 1 日 至 2023年 3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	6,625	392
投資活動による キャッシュ・フロー	5,366	2,744
財務活動による キャッシュ・フロー	△2,606	△4,506
現金及び現金同等物に 係る換算差額	66	40
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	9,451	△1,327
現金及び現金同等物の 期首残高	20,506	21,834
現金及び現金同等物の 期末残高	29,958	20,506

総資産 (単位:百万円)

自己資本比率 (単位:%)



(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を第36期(2022年3月期)の期首から適用しておりますが、第35期(2021年3月期)以前に係る各数値については遡及適用を行っておりません。

詳細情報は

メルコホールディングス IR

検索

melco-hd.jp/ir/top

Company Information

国内

株式会社メルコホールディングス

商号	株式会社メルコホールディングス (英文社名) MELCO HOLDINGS INC.
設立	1986年(昭和61年)7月1日
資本金	10億円
事業内容	メルコグループの純粋持株会社 傘下事業会社の株式を所有し、事業活動支援、 経営指導を通じて統括管理を行う
従業員数	30名、グループ連結1,928名
グループ企業	会社数20社(国内17社、海外3社)

役員 (2024年6月26日現在)

代表取締役社長	牧 寛之	取締役 (常勤監査等委員)	續木 政直
取締役	長瀬 吉昌	社外取締役 (監査等委員)	神谷 純
取締役	矢野 学	社外取締役 (監査等委員)	宮嶋 宏幸
取締役	中山 千里	社外取締役 (監査等委員)	大塚 久美子
取締役	渡邊 泰治		
取締役	津坂 巖		

株式会社バッファロー

商号	株式会社バッファロー (英文社名) BUFFALO INC.
創業	1975年(昭和50年)5月1日
設立	1978年(昭和53年)8月5日
資本金	3億20百万円
事業内容	デジタル家電及びパソコン周辺機器の開発・製造・販売 及びデータ復旧サービス
従業員数	628名

役員 (2024年5月10日現在)

代表取締役社長	牧 寛之	取締役	西脇 孝志
取締役副社長	渡邊 泰治	取締役	岩崎 克己
専務取締役	和田 学	取締役	田村 信弘
常務取締役	矢野 学	監査役	小澤 みつる
常務取締役	横井 一紀	監査役	中村 智仁
常務取締役	石丸 正弥		

シマダヤ株式会社

商号	シマダヤ株式会社 (英文社名) Shimadaya Corporation
創業	1931年(昭和 6年)7月20日
設立	1949年(昭和24年)3月4日
資本金	10億円
事業内容	麺類及び関連食料品の製造及び販売
従業員数	312名

役員 (2024年6月20日現在)

代表取締役社長	岡田 賢二	取締役 (常勤監査等委員)	加藤 優
専務取締役	相馬 紳一郎	社外取締役 (監査等委員)	深山 隆
常務取締役	小原 伸之	社外取締役 (監査等委員)	高木 康行
常務取締役	佐々木 敏夫		
常務取締役	曾根田 直基	社外取締役 (監査等委員)	坂井 愛
取締役	太田 智之		
取締役	牧 寛之		

シー・エフ・デー販売株式会社

パソコンパーツ及び周辺機器の開発・製造・販売

株式会社バイオス

ストレージ関連製品の開発・製造・販売

メルコシンクレッツ株式会社

音響機器及び関連製品の開発・販売

株式会社バッファロー・IT・ソリューションズ

ネットワーク関連機器及びパソコン周辺機器の販売、インフラの構築・保守

アドバンスデザイン株式会社

データ復旧/消去/変換サービス及びデータ消去製品の製造・販売

株式会社デジオン

ネットワーク・ストレージソフトウェアの開発・販売

株式会社トゥーコネクト

ダイレクトマーケティング事業

株式会社ライフエンリッチ

ダイレクトマーケティング事業

海外

〈米国〉 BUFFALO AMERICAS, INC.

ネットワーク関連機器及びパソコン周辺機器の販売

〈台湾〉 巴比禄股份有限公司

部材の調達・管理

(2024年3月31日現在)

株式の状況

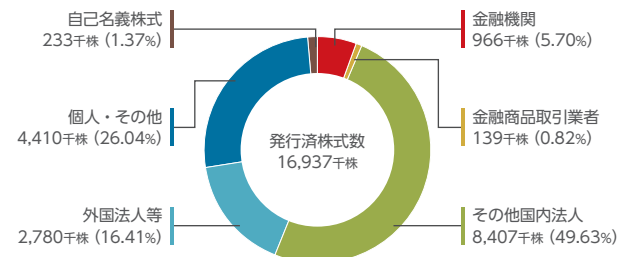
発行済株式の総数 16,937,873株 (自己株式233,526株含む)
株主数 4,961名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社メルコグループ	7,740	46.33 (45.69)
牧 寛之	2,093	12.53 (12.35)
ECM MF	1,621	9.70 (9.57)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	717	4.29 (4.23)
公益財団法人牧誠財団	500	2.99 (2.95)
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	191	1.14 (1.12)
J.P.MORGAN SECURITIES PLC FOR AND ON BEHALF OF ITS CLIENTS JPMSP RE CLIENT ASSETS-SEGR ACCT	162	0.97 (0.95)
岩崎 泰次	146	0.87 (0.86)
メルコ共栄会	112	0.67 (0.66)
牧 廣美	79	0.47 (0.46)

(注) 1. 持株数は千株未満の端数を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は自己株式を控除した発行済株式の総数を基準にして計算し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。なお、() 内の持株比率は自己株式を含めた発行済株式の総数を基準にして計算しております。

所有者別分布状況



(注) 1. 持株数は、千株未満の端数を切り捨てて表示しております。
2. 構成比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

株主メモ

決算期日	3月31日
定時株主総会	6月
株主確定基準日	議決権行使株主 3月31日 期末配当金受領株主 3月31日 中間配当金受領株主 9月30日
上場証券取引所	東証スタンダード市場・名証プレミア市場
証券コード	6676
1単元の株式数	100株
公告の方法	電子公告 https://melco-hd.jp/koukoku/
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 ◎電話照会先 TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル) 平日9:00~17:00
幹事証券会社	(主)大和証券 (副)野村證券、みずほ証券、SMBC日興証券

株式会社 **メルコホールディングス** (証券コード6676)

東京本社 〒100-6215 東京都千代田区丸の内一丁目11番1号
パシフィックセンチュリープレイス丸の内
TEL. 03-4213-1122(代) FAX.03-4213-1123

名古屋本社 〒460-8315 名古屋市中区大須三丁目30番20号 赤門通ビル
TEL.052-251-6891(代) FAX.052-249-6609

ウェブサイトのご案内

株式会社メルコホールディングス

最新ニュースや会社情報、投資家様向け情報などを提供しております。



<https://melco-hd.jp>

株式会社バッファロー

製品やサービスの情報、活用事例及びサポート情報を提供しております。



<https://www.buffalo.jp>

シマダヤ株式会社

お奨めレシピや商品に関するさまざまな情報を紹介しております。



<https://www.shimadaya.co.jp>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。